別添

【南丹市美山エコツーリズム推進協議会】

項目	内容
代表的なエコツアー	１.「かやぶきの里ガイドツアー」(通年) かやぶきの里集落内を約30 分地元ガイドが御案内（かやぶきの里保存会） ２.「芦生の森ネイチャーガイドトレッキングツアー」（４月～11 月） 芦生の森を地元ガイドが御案内する昼食付ツアー（美山町自然文化村・芦生山の家・芦生自然学校） ３．「スノーシュー」(冬季) 西洋かんじきを履き、町内各地にあるコースを地元ガイドと共に歩きます。(美山町自然文化村・田歌舎・芦生自然学校) ４．「美山川ラフティング」 「芦生パックラフト」（３月～10 月） 美山川を地元ガイドと下る。(田歌舎・芦生山の家) ５.「鹿解体体験」(11 月～３月) 鹿の解体を見学し、その後ジビエ料理を食べていただく。(田歌舎) 一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会 電話 0771-75-9030 E-mail　info@kyoto-miyama.jp

別添

エコツーリズム推進法の基本理念への活動状況	〈自然環境の保全〉 京都丹波高原国定公園では生態維持回復計画に基づき、府・京都大学芦生研究林がシカの被害の保全と、回復に向けた調査・啓発事業を行っている。 また、当協議会所属団体である内久保環境・史跡保存会が京都府指定希少種野生生物である「ベニバナヤマシャクヤク」の保全活動を実施している。 その他、美山漁協など各種関係機関と連携して美山川（由良川）の保全活動を行っている。 〈観光振興〉 日本版 DMO 法人である一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会の活動を通して地域連携を図っている。また、ベスト・ツーリズム・ビレッジが国内６地域になったため UN・tourism と共に地域間の連絡会を持ち、持続可能な観光の推進と国内外に向けた情報発信の強化を進めている。南丹市全体の観光振興計画の策定が行われ、エコツーリズムを軸とした観光の促進を掲げ、取組を行っている。 〈地域振興〉 美山町内でエコツーリズムをはじめ観光産業を目指す人材と美山町で活躍する事業者とが出会う機会を創出することで、事業活動が促進し、新たな製品の開発や、起業への促進、不足する人材の解消に取り組んでいる。 〈環境教育の場としての活用〉 2018 年度から京都丹波高原国定公園内にビジターセンターが開設し、2022 年には、地域 ESD 活動拠点として登録、環境教育や事業者や住民との交流の拠点にもなりつつある。また、芦生の森を中心に、地域団体らが、環境教育プログラムを実施している。
特記事項	2021 年に国連世界観光機関（UNWTO）「ベスト・ツーリズム・ビレッジ」の認定を受けた。観光を通した文化遺産の促進と保全、持続可能な開発に取り組んでいる地域を表彰するプロジェクトとして世界 76 の地域が認定を受けている。この基準に基づいた持続可能な観光の取組を環境と経済の観点から取り組んでいる。